

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	夢んぼ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	8年 6月 4日 ～ 8年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子さんにあった個別のプログラムを提供しています。	活動部屋を分かれグループ分けをし集中できる空間を整え、子どもの発達状況に合わせた活動内容を個別に実施しています。日常生活に必要な体の使い方など分析しながら取り組んでいます。また、相手に伝える表現を増やすために写真カードと一緒にジェスチャーや言葉などその子の発達に合わせて取り組み、実体験を通して学んでいます。	職員のスキルアップを図るため、研修への参加や職員間での意見交換、情報共有の強化を行っています。
2	保育所等訪問を実施しており、関係機関との連携を図りお子さんの成長に結びつけています。同じ方向を向いて支援ができるため、お子さんの成長を共有することができます。	訪問の際、夢んぼでの様子やご家庭での様子等を含め、現状の課題や困り事についても保護者の方との情報共有に取り組んでいます。	より具体的なアドバイスにより、地域で生活する上での経験を重ねていけるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所との併用により、利用する曜日に偏りが出しています。	曜日固定のご利用の方や園行事などで利用の変更が出てしまうため。	相談事業所の相談員や保育所、保護者の方のご意見や状況も踏まえ、しっかりと情報共有し、より良いご利用方法を提案していきます。
2	保護者との連携がうまくできない時があります。	定期的な面談をおこなっていますが、日頃のご家庭での様子等、詳しく聞き取りができていないことがあります。	面談だけでなく、連絡帳の活用、送迎時、電話やメールでの連絡でより円滑に連携が図れるように努めています。